1/31
毎日

医療費抑制に地域差

厚労省 都道府県努力を点数化

福井129点、平均以下

厚生労働省が都道府県の医療費抑制や健康づくりの取り組み成果を初めて点数化した結果、最大で約2・3倍の差があることが29日、分かった。成果が一番高く評価されたのは新潟（183点）で、最下位は山口（80点）だった。福井は129点で28位だった。4月に国民健康保険（国保）の運営主体が市区町村から都道府県に移るのに伴う財政支援で、2018年度は交付金約500億円を点数と加入者数に応じて都道府県に振り分ける。配分額は公表していない。

財源を傾斜配分することで医療費抑制に向けた競争を促し、医療保険財政の健全化につなげる狙い。16年度から市区町村を対象に前倒しで実施している国保の「保険者努力支援制度」の一環で、18年度から制度の対象に加わる都道府県を初めて評価した。

評価の指標は①15年度の1人当たりの医療費水準②市区町村への指導・助言状況③市区町村のメタボ健診実施率や保険料収納率―などで、満点は210点。

210点満点のうち、最大で100点を獲得できるのが、メタボ健診（特定健診）の実施率や後発医薬品の使用割合など管内市区町村の努力による評価部分だ。

全国平均より50点以上高い183点を獲得した新潟。管内市区町村の数値が高く、全体の点数を押し上げた。県の担当者は「県よりも市町村の頑張りが大きかった」と評価する。173点で2位の富山は「市町村の保険料の収納率が高く、加点につながった」と分析する。

一方、順位が低かった県では、医療費水準が低かった場合や、前年度より医療費の伸びを抑制した場合にもらえる加点を取り逃したケースが目立つ。最下位の山口（80点）と、ワースト2位の愛媛（87点）は、いずれの加点もゼロだった。

愛媛は、今回の評価対象となった15年度に超高額だったC型肝炎治療薬「ソバルディ」や「ハーボニー」が保険適用され、使用が急増したことで前年度より医療費を押し上げたと分析する。担当者は「ここまで得点が低いとは思わなかった」として、改善策を検討する考えを示した。

保険者努力支援制度の都道府県別点数

上位			下位		
1	新潟	183	1	山口	80
2	富山	173	2	愛媛	87
2	沖縄	173	3	茨城	101
4	愛知	154	4	千葉	105
5	広島	150	5	山梨	106
5	福岡	150			

※210点満点

赤字改善へ競争促す

4月に国民健康保険（国保）の運営主体が都道府県に移管されるのに合わせ、厚生労働省は都道府県への交付金傾斜配分をスタートさせる。国保の赤字体質改善に向けて競わせ、医療費抑制を促す狙いがある。ただ、高額医薬品の使用による医療費急増など予期できない要素があるほか、管内市区町村の実績の評価点が高いため、連携も課題とな